

①西濠

調査地西側を南北に走る濠が確認されています。過去の試掘調査等で存在は確認されていましたが、想定より東へ傾いていることがわかってきました。また濠と並行するようにいく条かの溝が走っていることが確認できました。この溝は濠より古い時期に掘られていたもので、深さ2m以上におよぶものもみられます。

現段階ではこの濠が南へ延びるかどうかはわかりませんが、調査地西側に不定形な区画がみられることから、西側へと曲がる可能性も考えられます。



勝瑞城

0 100m

②南濠

調査地南東側で収束すると考えられる濠が確認されています。過去の試掘調査等で東西方向へ走る濠と考えられていましたが、濠幅も広く南東方向へ走る可能性ができました。明治期の地籍図において調査地の南東側は通称「かじ池」と呼ばれる場所で、溜池であったこと、その他、南側にも溜池が二つあったことから、これらが濠の名残とも考えられ、濠が続いていく可能性があります。

濠想定位置

かじ池

地籍図に記録がある溜池